

## あらすじ

ウータイ政府は神羅カンパニーと停戦状態にあった。神羅のお膝元である巨大魔院都市ミッドガルで「究極マテリア」が開発されているという情報を入手したウータイ政府は、精鋭集団「シノビ」の若き諜報員ユフィ・キサラギを現地に潜入させる。

ミッドガルに潜入したユフィは協力関係にある反神羅組織アバランチと合流し、究極マテリア入手のため神羅ビルに潜入することになった。

だが、資金難に苦しむ彼らは潜入工作の為にどうにか数日以内に資金を調達しなければならず、アバランチお得意の売春による資金集めを行う事になる。しかし大人の街を所酒屋程度にしか認識していないユフィは知ったかぶりのまま承諾してしまうのだった…





大丈夫  
見てくれるだけで  
いいから……

もうおつきく  
なってるし……  
わっ



ウータイ系の子  
かわいい！  
好きなんだよね！

ははあ……

じゃあ  
抜くとろろ  
見せてね

ゆく  
とろろ……う



な、なんかしなくて  
いいわけ……？

強いて言えば  
俺のこと  
睨んでくれたら……

はあ……う



あーすごい  
可愛い……  
顔見てるだけで  
抜ける……

し……  
し……

ちんこ男の  
調子次第だ！

フーか  
男のだけって何や  
しだりされたり  
するんじやないの？

ああ  
イヤね……

もつと  
見つけて……!!

し……  
し……



5000gil……こすり  
6000gil……フェラ  
10000gil……

ちよ……  
ちよつと  
待って！

そんなこと  
するの!?

ほんとに何も  
知らないんだなあ

ば、馬鹿に  
すんなあ！

ま……  
任せてよ！

じゃ  
隣の部屋で  
待機してて



……性交術は  
ウータイで一連り  
実習済みだけど……  
マジ最悪……



















## あとがき

どうも、サークル「ヘビツナガリ」の  
えすじーけーと申します。

元々は2021年の冬コミで出す予定でしたが、  
結果半年遅れてしまいました。

当選したもののスケジュールが厳しく、  
短くていいからなんとか本に出来ないかと  
描き始めた物でした。

なので当初はコマ割りもなく、絵を並べて  
色んなプレイが楽しめる本として描き進めました。  
なのに結局間に合いませんでしたあ…

年が明け、  
「どうせ遅れたならもっと漫画らしくしよう」  
とコマを割り、影もしっかり付け、  
前後を入れ替えページを描き足し無理矢理流れを作り、  
遅れに遅れてなんとか形になりました。

なので、どうもダイジェスト的な内容になりましたが、  
色々なプレイに挑むユフィが描けて楽しかったです。

今回は実験的に全編公開することにしました。  
夏コミではページ追加して本にします！  
では、どうもありがとうございました！